

鹿児島県出水市におけるツルとの 持続的な共生に向けた社会環境づくり

〒171-0021
東京都豊島区西池袋2-30-20
音羽ビル
電話:03-5951-0244
<http://www.ecosys.or.jp/>



ひろげる助成

2年目

知識の提供・普及啓発



市民向け勉強会の開催風景

勉強会への参加者数	82人
企画参加者からのアンケート回収	211枚
今年度計画の達成度	90%
活動の全体目標に対する達成度	75%

苦労した点と工夫した点



■ 苦労した点

ツルが飛来してからでないと住民をはじめ関係者の意識が高まらないため、イベント実施までの調整が慌ただしくならざるを得ない。

■ 工夫した点

事業に対しての市民の関心を高めるためイベント実施に際し地域の子どもに講演やガイドをしてもらい、保護者層への普及を狙った。

課題

- ツルの飛来が一部の市民に不利益をもたらし地域資源としても活用されていない状況
- ツルの保全や分散の取組みに対する一般的な関心・理解が低い状況

目標

ツルを地域資源として活用し、ツルやツルと暮らす地域の現状を多くの人へ伝え、食害や風評被害等の地域が抱える課題を多くの国民で負担する仕組みを作る。

活動内容と成果

● 市民向け勉強会の開催

地域の自然を資源ととらえ地域振興を図る事例として姉妹都市の韓国・順천시等から講師を招聘しシンポジウムを開催。10～70代と幅広い世代の住民が参加した。

● 来訪者向けガイド付きバス運行

ツル観察に訪れた観光客への啓発を目的にガイド付きバスを運行。1年目はツルの数が減った2月に2日間の実施だったが、2年目は1,2月の週末に4日間運行し577名が乗車。ガイド役はツルガイド博士検定に合格した小中学生を市内全域から募集し実施したことで、観光客のみならず市民の関心も高めることができた。



ツル渡来地の現状を伝えるガイドバスを運行

今後の展望

ツル渡来地では海外旅行者も多く見られたが、ガイド付きバスは日本語のみのため乗車を見合わせてもらった。海外旅行者は滞在時間も長く、市も積極的に誘致していることから、外国語対応を考えていく必要がある。